

デジタルアーカイブの連携に関する関係省庁等連絡会(第2回) 議事概要

日時：平成28年6月28日(火) 16:00～17:00

場所：中央合同庁舎4号館 1203会議室

【議事】

- (1) 平成27年度の実務者協議会検討状況について
- (2) デジタルアーカイブ関連の関係省庁等におけるこの一年の進捗及び今後の取組の方向性について
- (3) アーカイブ利活用に資する基盤整備に関する実施状況について
- (4) 平成28年度の実務者協議会の検討事項及び進め方等について
- (5) 今後のスケジュールについて

【概要】

(議長挨拶)

○増田議長より開会の挨拶がなされた。本連絡会、協議会において今年度は目に見える形で成果を出す時期に来ており、一層の取組推進をお願いしたい旨、述べられた。

(議事)

(1) 平成27年度の実務者協議会検討状況について

○内閣府より、資料1-1、資料1-2に基づき説明。概要は以下の通り。

・平成27年度は、①デジタルアーカイブ構築に係る課題と、②アーカイブの利活用促進に係る課題について、方向性の検討がなされた。

・①について、分野・地方両面から連携の方向性の検討が必要、地方の現状の適切な把握と支援策の検討が必要、アーカイブ連携に必要なメタデータの標準化について各機関の自由度の確保と共通化すべき要素の明化が必要との方向性が示された。

・②について、アーカイブ利活用に向け、著作物の説明のための情報(メタデータ、サムネイル/プレビュー)の流通促進のため、メタデータについては、公的機関のものは自由に二次利用可(CC0)、サムネイル/プレビューについては、少なくとも著作権クレジット表示により自由な二次利用可とすることが望まれるとの方向性が示された。

(2) デジタルアーカイブ関連の関係省庁等におけるこの一年の進捗及び今後の取組の方向性について

○内閣府、国立国会図書館、文科省、総務省、経産省より、資料2-1～資料2-5に基づき説明。概要は以下の通り。

・内閣府より、「知的財産推進計画2016」(アーカイブ関連)の概要が紹介された。

- ・国立国会図書館より、国立国会図書館サーチと文化遺産オンラインとの連携、メタデータのオープン化・標準化推進等の取組が紹介された。また、我が国の多様な分野のメタデータ等を世界的に流通・発信可能な統合ポータルの実現に向けて、国立国会図書館サーチを発展させた「ジャパンサーチ（仮称）」の構想について説明された。
- ・文科省より、メディア芸術等分野（メディア芸術所蔵情報等整備事業の継続、メディア芸術アーカイブ推進支援事業の拡充等）、及び文化財分野（文化遺産オンライン構想の推進等）の取組が紹介された。
- ・総務省より、デジタルアーカイブ支援ネットワーク（DAN）ワークショップによる取組、放送コンテンツのアーカイブ化の現状（放送番組センター、NHK アーカイブス）、等が紹介された。
- ・経産省より、コンテンツポータルサイト「JAPACON」との連携、助成を受けたコンテンツの権利情報登録による許諾円滑化の取組等が紹介された。

（３）アーカイブ利活用に資する基盤整備に関する実施状況について

○文科省より、資料３に基づき説明。概要は以下の通り。

- ・アーカイブ化の促進に係る著作権制度上の課題について、平成２６年度文化審議会著作権分科会において検討を行い、一定の方向性が示され、現在必要な措置を順次講じている旨説明がなされた（アーカイブ機関による資料の保存のため必要がある場合の複製、アーカイブのために保存した著作物等の活用、著作権者不明等の場合の裁定制度の見直し、著作物等の流通推進のための権利処理の円滑化等）。

（４）平成２８年度の実務者協議会の検討事項及び進め方等について

○内閣府より、資料４に基づき説明、了承された。概要は以下の通り。

- ・今年度は、５回程度の協議会を開催し、平成２７年度に整理したデジタルアーカイブの構築に係る課題（地方における課題を含む連携モデルの検討等）と、利活用促進に係る課題（メタデータ、サムネイル／プレビューの流通促進等）について、有効事例の共有化を図りつつ検討を進める。
- ・我が国における「デジタルアーカイブ連携の方向性（案）」、「メタデータのオープン化等に関するガイドライン（案）」を取りまとめる。

（５）今後のスケジュールについて

○増田議長より、以下の説明がなされた。

- ・次回連絡会は、年度末頃を目処に開催予定（協議会での検討結果、各省庁における取組状況等について）。

以上